

1 単元名 第1章 私たちの暮らしと現代社会 3 私たちがつくるこれからの社会

2 単元の目標

- ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解するとともに、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義について理解する。(知識・技能)
- ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。(思考力・判断力・表現力等)
- ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準(具体的な内容のまとめりごとの評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ②人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義について理解している。	①対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	①現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

4 教材について

第1章は、「グローバル化」・「情報化」・「少子高齢化」を切り口に社会の現状と課題にせまる1節、我が国をつくり支えてきた「伝統文化」の意義への理解を深める2節、「対立と合意」・「効率と公正」の概念の獲得を目指し、ルールを果たす役割を認識する3節からなっている。

学習指導要領の「公民的分野の内容(1)『イ 現代社会をとらえる見方や考え方』」においては、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる」ことがかけられている。

「対立と合意」の考え方は、今後公民的分野の学習を進める中で、生徒の見方や考え方に結びついてくる。問題解決を図るためには、決して安易な選択ではなく、様々な立場からの考察や社会的な背景、時系列的な要素など多面的・多角的な視点を取り入れることが必要となってくる。また、身近な事例から「効率」が社会全体で「無駄を省く」ということ、すなわち、「合意」された内容が無駄を省く最善のものになっているかを検討することや、「公正」には機会の公正さや結果の公正さなどさまざまな意味合いがあることを理解し、「合意」の手続きについての公正さや「合意」の内容の公正さについての理解を生徒により深めさせたい。

本単元を通して、「物事の決定の仕方」や「きまり」に関する社会的事例を示し、その意義を考えさせること

を通して現代社会の見方や考え方の基礎を身に付けさせたいと考える。

5 生徒の実態

本学級の生徒は、全体的に落ち着いてしっかりと学習態度で授業に臨み、教師の指示を素直に聞き、作業にもまじめに取り組むことができている。また、新聞・ニュース等で報道されている時事問題に対して、高い関心を示し、それに対する自分の考えを積極的に発言したりする生徒も見られる。その一方で、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や、資料をもとに思考を高め、自分の考えを整理して発表する能力がすべての生徒に十分に身につけているとは言えず、これらの能力を高めることについては課題が見られる。また、CRT検査においては、社会的な思考・判断・表現および社会的事象についての知識・技能の観点において、課題が見られた。これらのことから、社会的事象における基礎的な知識を身に付けさせるとともに、社会的事象について多面的・多角的に考察する力を高めていくことが、今後の教科指導における課題である。

6 研究の視点との関わり

(1) 視点1 個別最適な学び

- ①教師の丁寧な見取り（指導と評価の一体化）
- ②学習計画（学習の見通し）
- ③知識・技能の確実な習得（習得）
- ④思考力・判断力・表現力等の育成に向けた知識・技能の活用（活用）
- ⑤学びに向かう力・人間性等の涵養に向けた探求的な学び（探究）
- ⑥自身の変容や成長の自覚（学習の振り返り）
- ⑦自己のキャリアとのつながり（キャリア形成）

① 本単元で身に付ける対立と合意、効率と公正などは、現代社会をとらえる見方・考え方の基礎となるものであり、今後の学習や生活において多面的・多角的に考察し、表現していく上で重要となっていくものである。これらの資質・能力を身に付けさせるために、本単元では、ルーブリックを活用して生徒と評価基準を共有する。ルーブリックを活用しながらそれぞれの生徒が教科書やインターネットなどで知識を習得していく中で、概念として定着しているかどうかを行動観察や学習の成果物などを通して把握していく。形成的評価を繰り返す中で知識の定着が十分でない判断した生徒に対しては重点的に指導しながら、全員が「おおむね満足できる」状況であるB評価以上となることを目指す。

② 単元の初めに、単元を通して身に付ける資質・能力や、単元の進め方の大まかな見通しを生徒と共有する。その上で、どのようにその資質・能力を身に付けるのかという“学ぶ方法”を生徒自身に考えさせたり、選択させたりする。計画を立てることに困難を抱えるような生徒がいる場合は、教師が寄り添って一緒に考えたり、その生徒に適切であると教師が判断する学び方をいくつか提示したりしながら、学習に対して受け身になるのではなく、主体的に学習を進めようとする態度の育成を目指す。

③ 本単元で身に付ける知識は「対立と合意、効率と公正などについて理解すること。」「個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解すること。」である。これらについて、教科書やインターネットなどを活用した調査活動や、そこで得た知識を活用した話し合い、理解度をチェックする場の設定などを通して確実に身に付けさせたい。教師の見取りの中で理解が不十分だと思われる生徒については教師と一緒に考えたり、教師が重点的に指導を行ったりしながら、確実に知識・技能を習得できるよう徹底的に寄り添っていく。

④ 1・2時間目に身に付けた知識を活用して、3・4時間目に教科書の事例についての話し合いを行う。話し合いをする中で、人々の対立を調整し合意に至るルールの内訳について考えさせたり、共通の話題

- についてグループで協働しながら提案書を作成する中で様々な意見に触れたりしながら、社会生活における物事の決定の仕方やきまりの役割などについて、多面的・多角的に考察し、表現できるようにしていく。
- ⑤ 単元の最後に、生徒にとって身近な話題である資料③の「中学校の制服が変更されたパンフレット」を活用し、「効率と公正」の観点から考察する活動を行う。その際、「どちらがよいか」「どうすればよいか」といった問いを大切にしながら、全員で共通理解するのではなく、生徒一人一人の選択や判断を大切にしながら、社会と自分たちとの関わり方について主体的に考えていこうとする態度へとつなげていきたい。
 - ⑥ 単元の最後に資料③の「中学校の制服が変更されたパンフレット」を活用し、「効率と公正」の観点から考察することや、単元を貫く問い「ともによりよい社会をつくっていくために、私たちはどのように社会のルールを考えればよいのだろう」について自分の考えをもつ時間を設けたあとに、単元全体の学習を振り返る。単元を貫く問いへの自分なりの考えを言語化し、学びを自覚した上で学習を振り返ることで、何を学べたのか、どのように成長したのか、あるいは何が分からなかったのかなどといった自分自身への気付きを促していきたい。
 - ⑦ 単元の最後に、単元全体の振り返りとして、単元を貫く問いについて自分の考えを文章にまとめる活動を行い、単元を通じた学びを自覚させた上で、学習したことがそれぞれの生活やキャリアの中でどのように生かせるのか。それぞれの生活やキャリアの中で活用できるような場面とはどんな場面か。その時に自分はどう行動するのかなどといったことを具体的にイメージする時間を設ける。学習したことを振り返るとともに、自己の生き方に生かしていこうという態度へとつなげていきたい。

(2) 視点2 協働的な学び

- ①教師の生徒へのかかわり（子供たちを支える伴走者としての教師の役割）
 - ②学び合いによる考えの広がりや深まり（学習の成果の共有）
 - ③課題解決に向けた協働的な学び（最適解・納得解を導き出す協働的な学び）
 - ④学校の特色に応じた活動（地域の資源を生かした体験活動や異年齢間の交流）
-
- ① 学習を進めていく中で困難を抱えている生徒がいる場合に教師が適切に支援することはもとより、生徒一人一人にどのようなつまずきが見られるのか、現在の学習状況を把握したり、学習を進める中でどのようなつまずきが見られそうなのかを予測したりしながら、学習を進めていく。一人一人を丁寧に見取りながら、それぞれの生徒に適切な支援・指導を行い、単元終了後に実現してほしい生徒の姿の達成を目指していく。
 - ② 単元を通して、自分の考えを文字や言葉で表現する活動を多く設定する。各生徒が深めた学習の成果を持ち寄ってそれを共有することで、学習したことを広げたり深めたりすることはもとより、物事を多面的・多角的に考えようとする態度へとつなげていきたい。
 - ③ グループで1つの「提案書」を作成する場面を設定し、生徒同士が力を合わせて課題を解決しようとする状況を創り出す。その際、立場や根拠、理由付けを明確にして考えを説明するように指導する。全員で最適解・納得解を導き出す協働的な学びを目指すことで、本単元で身に付ける資質・能力「対立と合意、効率と公正」について、体験を通じた深い理解へとつなげたい。
 - ④ 「地域への貢献」に関わる総合的な学習を通して、互いのよさを生かしながら学習に取り組む態度を育て、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする。

習得	<p>1 知識・技能 言語能力① その他(現代的な課題に対応して求められる資質・能力等) ①</p>	<p>1 本時に身に付ける資質・能力を確認する。[協] ・効率と公正について理解することができる。 ・物事の決定の仕方を効率と公正の観点から考察し、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>2 本時の評価を共有する。[協]</p> <p>3 効率と公正について理解するために、それぞれについて自分の言葉でまとめる。[個]</p> <p>4 教科書「ルールについて考えよう～合唱コンクールの練習～」にふれる前に、簡単な「対立」の事例を通して「効率と公正」について考える。[個][協] ・三つのアイスクリームを二人で分けるための解決方法を考える。</p> <p>5 ジャンケンが公平かについて考える。[個][協]</p> <p>6 ①「ルールについて考えよう～合唱コンクールの練習～」について、「効率」と「公正」という語句を使って自分の意見をまとめ、話し合いをする。[協]</p> <p>7 ①の事例で「家にあるキーボードを学校に持ってきて、教室練習をしたいというクラスが出てきたら、どうしたらよいか」について考え自分の意見をまとめる。[個]</p> <p>8 「効率」と「公正」の視点をもって合意形成をめざす重要性を、自分の言葉でまとめる本時の振り返りを行う。[個]</p> <p style="text-align: right;">【国語との関わり①②③】 【道徳との関わり①】 【特別活動との関わり①】</p>	<p>知②(ノート、ワークシート) 【視点1③】 【視点2①②】</p>	 <p>より知識を深めるために、インターネットの検索機能を使って情報収集を行う。</p>  <p>よりたくさんの意見に触れるために、チャット機能を使って情報を共有する。</p> <p style="text-align: right;"><u>育成を目指す情報活用能力</u> ①②③④⑤⑥</p>
活用	<p>1 思考・判断・表現 言語能力② ③④⑤⑥ 問題発見・解決能力① ②③④ その他(現代的な課題に対応して求められる資質・能力等) ①②③④</p>	<p>1 本時に身に付ける資質・能力を確認する。[協] ・物事の決定の仕方やきまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>2 本時の評価を共有する。[協]</p> <p>3 事例②「ルールを作ってみよう～ごみ集積所の新たな設置～」を読み、設置場所についての自分の考えをまとめる。[個]</p> <p>4 グループごとに「合意案」を作成する。[協]</p> <p>5 他のグループの意見を聞き、「効率と公正」の観点から分析し、互いに評価を行う。[協]</p> <p>6 本時の振り返りを行い、効率と公正の観点を大切にしながらルールをつくることの重要性と必要性についての理解を深める。[個]</p> <p style="text-align: right;">【国語との関わり①②③④】 【社会との関わり①②】 【道徳との関わり①】 【特別活動との関わり①】</p>	<p>思①(ノート、ワークシート) 【視点1④】 【視点2②③】</p>	 <p>効率的に「合意案」を作成するために、パワーポイントを使って作業を同時に進める。</p> <p style="text-align: right;"><u>育成を目指す情報活用能力</u> ①②③④⑥</p>
探究	<p>1 思考・判断・表現 学びに向かう力・人間性 言語能力②</p>	<p>1 本時に身に付ける資質・能力を確認する。[協] ・よりよい暮らしの在り方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に考えを深めることができる。</p> <p>2 本時の評価を共有する。[協]</p> <p>3 前時に各グループで作成した「提案書」につい</p>	<p>主①(ノート、ワークシート) 【視点1⑤⑥⑦】 【視点2①】</p>	

	③④⑤⑥ 問題発見・ 解決能力① ②③④ その他(現代的な諸課題に対応 して求められる資質・能力等) ①②③④	<p>て、各自が記入した意見を参考にしながら、評価カードの「効率と公正」の観点に基づいて評価を行う。[個]</p> <p>4 資料③の事例について「効率と公正」の観点から考察し、ルールの評価や見直しの重要性について考える。[個][協]</p> <p>5 単元を貫く問い「ともによりよい社会をつくっていくために、私たちはどのように社会のルールを考えればよいのだろう」について自分の考えをもつ。[個]</p> <p>6 学習を振り返る。[個]</p> <p>7 自己の生活やキャリアとのかかわりについて具体的にイメージする。[個]</p> <p>【国語との関わり①②③】 【社会との関わり①②】 【道徳との関わり①②】 【特別活動との関わり①②③④】</p>		<p>自分の考えを記録するために、文書作成ツールを活用するとともに、互いの考えを共有するために、パワーポイントを活用する。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ① ②③④⑥</p>
--	---	--	--	---

(2) 教科等横断的な学習

	言語能力	情報活用能力	問題発見・解決能力	その他(現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力等)
知識・技能		① 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能		
思考・判断・表現	① 情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ② 他者とのコミュニケーションを図る力	② 問題解決・探究における情報を活用する力 ③ 必要な情報の収集・判断・表現・処理・創造 ④ 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達 ⑤ 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	① 物事から問題を見いだす力 ② 問題を定義する力 ③ 問題の解決の方向性を決定する力 ④ 解決方法を探して、計画を立てる力	
学びに向かう力・人間性等	③ 言葉を通じて自分のものの見方・考え方を広げようとする態度 ④ 集団としての考えを発展・深化させようとする態度 ⑤ 体験したことや感じたことを言葉にしたり、それらを交流させたりしながら心を豊かにしようとする態度 ⑥ 互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度	⑥ 問題解決・探究における情報活用の態度		① 主権者に関する教育 ② 消費者に関する教育 ③ 郷土や地域に関する教育 ④ 環境に関する教育

(3) 関連する各教科の資質・能力

国語	社会	数学	理科	音楽	美術
<p>①A 話すこと・聞くこと (1) エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>②A 話すこと・聞くこと (1) オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>③B 書くこと (1) ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>④書くこと (1) ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。</p>	<p>①小学校4年 内容(2)ア(イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。</p> <p>②小学校4年 内容(2)イ(イ) 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現すること。</p>				
保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
			<p>①内容B [相互理解、寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。</p> <p>②内容C [公正、公平、社会正義] 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。</p>		<p>①内容(2)ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成</p> <p>②内容(2)イ 男女相互の理解と協力</p> <p>③内容(3)ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用</p> <p>④内容(3)イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成</p>

8 本時の実際

(1) 本時の目標

対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現する。(思考・判断・表現)

(2) ルーブリック (評価基準)

評価基準	生徒の学習状況
◎「十分満足できる」状況	合意できる案について、効率と公正の視点から多面的・多角的に考え、ワークシートに自分の意見をまとめ、立場の異なる意見や反論も考えることができる。
○「おおむね満足できる」状況	合意できる案について、効率と公正の視点から多面的・多角的に考え、ワークシートに自分の意見をまとめることができる。
△「おおむね満足できる」状況にするための手立て	グループの話し合いの中で、合意できる案を見つけさせ、ワークシートに自分の意見を書かせる。

(3) 本時の展開 (3/4)

過程 (分)	○主な学習活動【 】活動形態 ・予想される生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ *留意点	■評価規準 () 評価方法 【 】研究の視点 ▲努力を要する生徒への手立て
導入 (5分)	<p>○前時の学習を振り返る。 ・効率 ・公正 ○学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 効率と公正の観点から、ごみ収集所の設置場所を考えよう。 </div> <p>○ルーブリックを提示する。 ○資料を読み込み、場面設定や条件を確認する。 ○対立点を理解する。 ○ゴールまでの見通しをもつ。</p>	<p>◇前時に学習した効率と公正の概念をおさえる。</p> <p>◇資料を読み込む時間を確保し、共通理解を図る。 ◇学習の流れを確認し、ゴールへの見通しをもたせる。</p>	<p>【視点(1)②】</p>
展開 (40分)	<p>○効率・公正のいずれかの観点を選択し、個別でごみ収集所の設置場所を考える。</p> <p>○グループでごみ収集所の設置場所を考え、意見をまとめる。</p>	<p>◇効率と公正の概念を再度おさえる。</p> <p>◇対立点を理解させ、スムーズに話し合いができるようにさせる。</p> <div style="text-align: center;">  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p> </div>	<p>【視点(2)③】</p> <p>▲生徒の手が止まっている場合は、同じ観点を選択した友達と相談するよう促す。</p> <p>【視点(2)②③】</p> <p>■効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、表現している(思考・判断・表現)</p>

	<p>○グループの代表が合意案を発表する。</p> <p>○それぞれのグループの合意案を効率と公正の観点から評価し、自分の意見をまとめる。</p>	<p>◇パワーポイントの機能を活用させ、自由に発表ができるようにする。</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p> <p>◇パワーポイントの機能を活用させ、自由に意見を書き込めるようにする。</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	
<p>終末 (5分)</p>	<p>○振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率と公正の観点を大切にしながら、問題解決にあたったか。 ・効率と公正の観点から、対立点の調整にあたることの意義を実感できたか。 	<p>◇対立から合意にいたるまでには、どのように判断すれば良いか考えさせる。</p>	<p>【視点（1）⑥】</p>